

作成番号:0228

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数:2024-228

内容:歯の数が多いと、日本人の平均余命が長くなる

出典: Number of Teeth and Dementia-free Life Expectancy: A 10-Year Follow-Up Study from the Japan Gerontological Evaluation Study.

Journal of the American Medical Directors Association. 2024 Sep 11;25(11);105258.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39276797/>

歯の喪失が認知症リスクの増加と関連しているが、歯の数と平均余命との関連を調査した研究はこれまでほとんどなかった。東北大学の研究者らは、日本人高齢者の歯の数と認知症のない平均余命や認知症の有無によらない平均余命との関連を調査し、Journal of the American Medical Directors Association 誌 2024 年 11 月号に報告した。

対象は日本の 65 歳以上の高齢者 44,083 人(平均年齢は 73.7±6.0 歳、男性の割合:46.8%)で、2010~20 年の 10 年間フォローアップ調査を行った。歯の数は、20 本以上、10~19 本、1~9 本、0 本に分類した。アウトカムとして、10 年間のフォローアップ期間中における認知症の発症および死亡率を収集し、歯の数に応じ認知症のない平均余命や認知症の有無によらない平均余命を推定した。フォローアップ期間中に、認知症を発症した割合は 17.3%、死亡率は 21.4%であった。歯の数が少ないことは、20 本以上の歯を持つ場合と比較し、認知症リスク増加と死亡率増加との関連が認められた。

65 歳時点での認知症のない平均余命は、歯が 20 本以上の人のほうが、0 本の人と比較し、長かった。

【男性】20 本以上:16.43 年、0 本:14.40 年 【女性】20 本以上:18.88 年、0 本:17.12 年

65 歳時点での認知症の有無に関わらない平均余命においても、同様であった。

【男性】20 本以上:17.84 年、0 本:15.42 年 【女性】20 本以上:22.03 年、0 本:19.79 年

歯の数が多いと、認知症のない平均余命および認知症の有無に関わらない平均余命が長くなることが示唆された。

